

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域に、 の「関心・意欲・態度」の観点を設けています。該当する領域において、 に示したような「関心・意欲」の見える言語活動を行っていただければ、加点するという考え方で配点しています。

また、大問2には、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」をまとめて出題していますが、「書くこと」の領域においても、関連する問題を設定しています。

2										1				大問・領域等
(1)										(1)	(2)	(3)	(4)	高
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1					中
15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	1	2	3	4	小
											やや満足及び概ね満足できる解答状況			満
											○ 田中さんが興味をもった話の内容の一部を書いている。 ・ 見方を変える ・ 大切さ 等 等	2		配
											エ			配
											○ 田中さんが興味をもった話の内容を正しく書いている。 ・ 見方を変えることの大切さの話に興味が出たから ※ひらがな可	3		小計
											○ 上記三つの観点を全て満たしている。 ・ 最後のまとめには、 鈴木さんの話から、「見方を変えることの大切さ」を学んだことや、これから、学んだことをどう生かしていくのかを話した方がいいと思います。 等	1 0		
											○ 田中さんの発表メモの足りない部分を補うために、アドバイスしようとしている。	3		
1 5										2 1				

授業改善の視点：インタビューの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる能力を育成する。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

										大問・領域等											
										3	読むこと										
										(4)	(3)	(2)	(1)	(4)	(3)	(2)	中間				
										態 意 関						②	①	小問			
										②④		②③	②②	②①	②①	①⑨	①⑧	①⑦	①⑥	連番	
授業改善の視点…詩を読み、内容や表現の仕方について感想を交流する言語活動を通して、自分の考えを支える根拠となる言葉を明確にしながら自分の考えを形成していく能力を育成する。										○ 自分の考えを書こうとしている。		○ 作者の思いに触れずに理由を書いている。 ・ 作者の思いに触れずに理由を書いている。 ・ 一つの詩から読み取った作者の思いに触れて書いている。 ・ 二つの詩から読み取った作者の思いを比べ、その理由を書いている。等	○ 自分の考えについて、その理由を書いている。(7点の採点基準)	○ 作者の思いの共通点があるかないかについて、自分の考えを書いている。 ・ (共通点が) ある(と思います)。 ・ (共通点が) ない(と思います)。等					○ 用件をたずねている。 用件は何ですか 用件を教えてください 等	○ 相手の名前をたずねている。 どなたですか 名前を教えてください 等	やや満足及び概ね満足できる解答状況
										○ 詩の表現を根拠に、自分の考えを書こうとしている。		○ 作者の思いに共通点があるかないかについて、自分の考えとその理由を書いている。 ・ (共通点がない(と思います)その理由は)『まわる地球』は素晴らしい地球がたえられていて、『ありふれたあさ』では、何かのきっかけで日常が訪れないことへの注意がよびかけられているからです。等	○ 作者の思いに共通点があるかないかについて、自分の考えとその理由を書いている。 ・ (共通点がない(と思います)その理由は)『まわる地球』は素晴らしい地球がたえられていて、『ありふれたあさ』では、何かのきっかけで日常が訪れないことへの注意がよびかけられているからです。等	○ 作者の思いに共通点があるかないかについて、自分の考えとその理由を書いている。 ・ (共通点がない(と思います)その理由は)『まわる地球』は素晴らしい地球がたえられていて、『ありふれたあさ』では、何かのきっかけで日常が訪れないことへの注意がよびかけられているからです。等	○ 主語を変えて、適切に書いている。 ・ 体育館に入場してきた卒業生を あかあか いつまでもあるとおもいこんでいた まるで空いっぱいに「やっほー」という色を塗ってみがきあげたようだ	○ 敬語を適切に使って用件をたずねている。 ・ どのような用件ですか ご用件を教えてくださいませんか 等	○ 敬語を適切に使ってたずねている。 ・ どちらさまでしか お名前を教えてくださいませんか 等	十分満足できる解答状況			
										3		1 0	3	3	3	2	4	2	2	配	
																				小計	

大問・領域等		4	読むこと	書くこと						
中間	小問	連番	やや満足及び概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況	小計					
(1)	(2)	(3)	(4)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	関係意態
○ 活字の印象を書いている。 ・ 活字だと業務連絡という感じになるから ○ 理由の一部を書いている。 ・ 一歩踏み込んだ感想や出来事が書けるから ・ 話がふくらむから 等 等 等	・ 文字を崩す（こと）。 等	○ 増えている年代や年度を書いている。 ・ 十代や三十代が増えている（こと）。 ・ 平成二十四年度が増えている（こと）。 等 ○ 根拠となる年代について、変化の様子を書いている。 ・ 十代から三十代の若者が、平成十六年度と比べ、平成二十四年度は増えている（こと）。 等	○ 次の四つの観点について、それぞれの配点で採点する。 ① 一段落目に、「手書き」か「パソコン」の、どちらで書いてもらいたいか自分の立場を書いている。 ② 二段落目に必要な情報を取り入れて理由を書いている。 ③ 【A】の前後とのつながりを考えて目的に合った文章を書いている。 ④ 百字から百四十字で書いている。	○ 文の主述、文と文のつながり、文末の表現等に注意し、正しく記述している。 ○ 誤字脱字がなく、正しい表記で書いている。	○ 資料をもとに、「手書き」もしくは「パソコンで作成」について呼びかける文章を書こうとしている。	○ 文の主述、文と文のつながり、文末の表現等に注意し、正しく記述している。 ○ 誤字脱字がなく、正しい表記で書いている。	○ 理由を正確に書いている。 ・ 一歩踏み込んだ感想や出来事が書けて、話がふくらむから ・ 人と人との仕事をしているなあ、と実感できるから 等	○ グラフから根拠となる情報を見つけ、具体的にまとめている。 ・ 十代から三十代までの若い年代で、「手紙はなるべく手書きで書くようにすべきである」と答えている割合が、平成十六年度は、五十パーセント未満であったが、平成二十四年度では、五十パーセント以上に増えている（こと）。 等	○ 上記四つの観点を全て満たしている。 ・ それは、皆さんには、年賀状を手書きで書いてほしいということです。 なぜなら、手書きの方が自分の思いを伝えるという感じが強くなります。また、人と人とのつながりを実感できるからです。きっと年賀状を受け取られるお年寄りの方も喜ばれると思います。 等 ・ それは、皆さんには、年賀状をパソコンで作ってほしいということです。 なぜなら、パソコンならば、自分の写真や干支のイラストをつけて、簡単に思いを伝えることができるからです。字体や文字の大きさも自由に選べ、きつと、お年寄りにとって読みやすい年賀状ができると思います。 等	○ 資料をもとに、条件に合わせて「手書き」もしくは「パソコンで作成」について呼びかける文章を書こうとしている。
2	2	3	2	2	2	3	2	1	2	3
5	3	2	8	0	1	0	3	3	3	3
3 2										

授業改善の視点…多様な方法で材料を集めながら、書く目的や自分の立場を明確にして意見を述べる文章を書く言語活動を工夫する。